

帝位、仍詔大鷦鷯尊、夫君天下以治萬民者、蓋之如天、容之如地、上有驩心ヨロコヘル、以使百姓、百姓欣然ヨロコビテ天下安矣。○下略

〔文德實錄〕嘉祥三年四月己酉、大宰帥三品葛井親王薨、親王桓武天皇第十二子也、母大納言贈正二位坂上大宿禰田村麻呂之女、從四位下春子也。○中略嘗嗟峨天皇御豐樂院、以觀射禮。○中略親王時

年十二、天皇戲語親王曰、弟雖少弱、當執弓矢、親王應詔而起、再發再中、時外祖父田村麻呂亦侍坐、驚動喜躍、不能自已、即便起座、抱親王而舞、進曰、臣嘗將數十萬之衆、征討東夷、實賴天威、所向無敵、自料

勇略、兵術多所不究、今親王年在韶齡、武伎如此、愚臣非所能及、天皇大咲曰、將軍褒揚外孫、何甚過多、〔將門記〕爰良正平○偏就外緣愁、卒忘內親之道、仍企干戈之計、誅將門之身、于時良正之因緣、見其威猛

之勵、雖未知勝負之由、兼莞爾熙怡而已。字書曰、莞爾者、倭言都波惠牟也、上音官反、下音志反、熙怡者、倭言與呂古布也、上音伎、下音伊反、

〔續古事談二節〕左大辨經賴ト云、人アリケリ、五十二及テ、藏人頭ニナリタリケルヲ、アナガチニヨ

ロコビケレバ、教惠座主ト云人、イサメテ云ク、カクヨロコバル、コソ、無益ノ事トオボユレト、ソ

シリケレバ、コノ人云ヤウ、コレハヨク案ゼラレヌナリ、天下ノ人イクソバクゾ、公卿廿餘人ハ論

ゼズ、其外タマ〜貫首ニナレリ、コレオホキナルヨロコビニアラズヤ、教惠ノ云ヤウ、コレハ大

乗ノ觀ナリ、トカク申スニヲヨバズトナム、

〔平家物語九〕河原合戰の事

大將軍九郎御ざうしよしつね門前にて馬よりおり、門をた、かせ、大をんじやうをあけて、○中略

此御所しゆごのためにはせまいつて候へ、あけて入させ給へと、申されたりければ、なりた、あ

まりのうれしさに、いそぎついがきの上より、おどりおる、とて、こしをつきそんじたりければ、共

いたさはうれしさにまぎれておぼえず、はうはう御しよへまいつて、此よしそうもんじたりけ

れば、○下略